

2023年7月14日

News Release

※情報解禁：日本時間 2023年7月13日 21時30分

※本プレスリリースは、ワールドプレミアでの発表内容を邦訳したものです。

Hyundai「IONIQ 5 N（アイオニック ファイブ エヌ）」、 グッドウッド・フェスティバル・オブ・スピードで初披露 高性能EVとドライビングの楽しさの新たなベンチマークを築く

- Hyundaiの高性能ブランド「N」初のEVである「IONIQ 5 N（アイオニック ファイブ エヌ）」は、新しいテクノロジーとレーストラックでの卓越した性能によって、ドライバーファーストの高性能EVという新しいセグメントを確率
- IONIQ 5 Nは、高性能ブランド「N」の電動化戦略の第一歩を示すものであり、今後さらに電動化されたいくつものNモデルが登場する計画
- IONIQ 5 Nは、「N」ブランドの3つの柱である「Corner Rascal」「Racetrack Capability」「Everyday Sportscar」にさらに磨きをかけ、それらはモータースポーツで培われた技術と、「Rolling Lab（ローリングラボ）」と呼ぶ実際に走行を繰り返すコンセプトテストカーによる数年にわたる開発結果を反映する
 - … Corner Rascal：ボディとシャーシの強化により、高いねじり剛性とダイレクトなステアリングフィールを実現し、デュアルモーターAWDと相まってラリーを彷彿させるコーナーリングが可能
 - … Racetrack Capability：「N グリン・ブースト」により最高出力 478kW / 650PS を実現し、先進の温度管理と回生ブレーキテクノロジーの採用でレーストラックでの耐久性を向上
 - … Everyday Sportscar：N e-shift と N Active Sound +が、高性能 ICE カー(内燃機関車)のようなドライビングフィールとサウンドを実現

• IONIQ 5 Nには、数々の専用パフォーマンス装備を備える

- … N バッテリープリコンディショニング
- … N レース
- … N ペダル
- … 回生ブレーキ
- … N ドリフトオプティマイザー
- … N トルクディストリビューション
- … N ローンチコントロール
- … N グリンブースト
- … N Active Sound +
- … N e-shift
- … N ロードセンス
- …トラック SOC

など



ウエストサセックス/ソウル、2023年7月13日 – Hyundai Motor Companyの「IONIQ 5 N（アイオニック ファイブ エヌ）」は、高性能ブランド「N」初のEVモデルとして、英国ウエスト・サセックスで開催されたグッドウッド・フェスティバル・オブ・スピードで世界初公開されました。IONIQ 5 N

は、N ブランドの電動化の未来を象徴するモデルであり、高性能を求める“Nthusiast (N 熱狂者)”にとって、公道やサーキットでの運転の情熱を驚かせる新たな手段となります。

この新型車は、ドライバーファーストの N モデルとともに、高品質のモビリティを提供するという Hyundai の長年の伝統を象徴しています。2014 年に FIA 世界ラリー選手権 (FIA World Rally Championship=WRC) にカムバックした N ブランドは、その後複数の世界選手権で成功を収め、ヒョンドに勝利の DNA を吹き込み、それらの技術を N のハイパフォーマンスモデルに反映しました。この流れは電動化にも受け継がれ、受賞歴のある EV 専用プラットフォーム E-GMP (Electrified-Global Modular Platform) ベースの IONIQ 5 は、N ブランド初の高性能 EV を生み出す完璧な土台となりました。

IONIQ 5 N は、N ブランドを Hyundai の先進技術開発の原動力として確立し、Hyundai の総合的な競争力を高めるという戦略的目標のもと、すべての Hyundai EV と共有する先進技術をリードしています。IONIQ 5 N は、この戦略的シフトの第一歩であり、これに続く電気自動車 N モデルが今後追加される予定です。

Hyundai Motor Company の President & CEO の張 在勲 (以下、チャン・ジェフン) は「Hyundai N は、Hyundai Motor Company の技術的リーダーシップの先頭に立っています。技術的なノウハウとモータースポーツの経験という N ブランドの勝利の組み合わせは、車両性能の限界に挑戦しています。そして EV のハイパフォーマンスモデルのゲームチェンジャーとして具現化されたのが「IONIQ 5 N」です。この車両を中心とした主要な開発は、今後の Hyundai の全モデルの競争力をさらに強化するでしょう。これが N ブランドの存在理由です。」と述べています。

IONIQ 5 N は、標準モデルの E-GMP (Electrified-Global Modular Platform) に N のモータースポーツで培われた技術を組み合わせ、N の電動化「Rolling Labs」(RM20e、RN22e、N Vision 74 など) の専門知識を活用することで、EV の高性能を最大限に引き出し、N ブランドの 3 つの柱である「Corner Rascal」、「Racetrack Capability」、「Everyday Sportscar」を確実なものにしました。

「IONIQ 5 N は、最新のテクノロジーを駆使し、ドライビングの楽しさを新たなレベルに引き上げるために開発されました。IONIQ 5 N を皮切りに、N ブランドはガソリン、電気、水素の区別なく、N の特徴である楽しいドライビング体験を提供することを目指しています。」と N ブランド&モータースポーツ事業部の Till Wartenberg (ティル・ヴァルテンベルグ) 常務は述べています。「これを達成するために、私たちは N ファンの声を注意深く観察し、最も要求の厳しい“Nthusiast (N 熱狂者)”の情熱を刺激することを目標に、初の EV モデル N に磨きをかけました。」

ラリーにインスパイアされたハンドリングとデュアルモーターAWDに裏付けされた Corner Rascal

IONIQ 5 N の Corner Rascal 性能は、42 箇所の追加溶接と 2.1 メートルの追加接着剤によるホワイトボディ構造の強化から始まります。モーターとバッテリー取り付け部は強化され、フロントとリアのサブフレームは側面の剛性を高めています。世界ラリー選手権にインスパイアされたインテグレートッド・ドライブ・アクスル (IDA) をフロントとリアに採用し、21 インチ鍛造アルミホイールとともにバネ下重量を軽減しながら、より強力な電気モーターのトルクに耐えるよう強化されています。

操舵応答性を向上させるため、IONIQ 5 N のステアリングコラムの剛性を強化しました。さらに、ステアリングレシオを高め、トルクフィードバックを向上させた専用チューニングの N R-MDPS (ラックマウント・モータードライブ・パワーステアリング) システムを採用しています。これらの強化により、よりダイレクトでコミュニケーション性の高いステアリングシステムを実現し、ドライバーに大きな安心感を与えます。

N ペダルは、EV 特有の重量とサイズに対応するソリューションとして開発され、同時に Hyundai のチャンピオンシップで優勝した i20 N WRC に見られる応答性の高いハンドリング特性を実現することを目指しています。IONIQ 5 N に搭載されているこのインテリジェントなソフトウェア機能は、ターンイン時の挙動とスロットル感度を向上させるように設計されています。N ペダルは、i-Pedal の回生ブレーキシステムで使用されている技術を応用し、エネルギー回生効率よりも高速で爽快なコーナリングを優先しています。減速力を利用することで、アグレッシブな体重移動が生まれ、よりシャープなコーナー進入を実現します。

Nドリフトオプティマイザーは、リアルタイムの入力に反応する複数の車両制御をバランスさせることで、ドリフト角の維持をサポートします。トルク・キック・ドリフト機能は、後輪駆動のICE車のクラッチ・キック・アクションを模倣することで、より即座にドリフトを開始する必要があるドライビング・シーンを可能にします。これは洗練された電子制御技術の賜物です。

Nトルク・ディストリビューションは、フロントとリアのトルク配分を11段階に調整できる完全可変式です。リアアクスルのe-LSD（電子制御リミテッド・スリップ・ディファレンシャル）は、コーナリング性能とコントロール性を最適化します。ホイール・センサーの追加と、ダンパー・サイズの拡大による幅広い減衰力容量により、電子制御サスペンションの性能の幅が広がります。

改良されたPEシステム、強化されたバッテリー冷却、改正ブレーキが Racetrack Capability を支える

このパワフルなEVの特徴は、いくつもの技術的改良により実現されています。電気モーターは最高21,000 RPMまで回転し、Nグリーン・ブースト作動時には478 kW / 650 PSの最高出力を発揮します。これは84kWhの新型バッテリーから供給されるエネルギーを、効率を高めた2段階インバーターで効率よく制御する結果です。

いくつかの専用機能がサーキットでのパフォーマンスをサポートします。Nグリーン・ブーストは10秒間加速を最大化し、Nローンチ・コントロールは最速スタートのための3段階のトラクション・レベルを提供することで、ドライバーはプロが操るレーシングカーのように車を発進させることができます。トラックSOC（充電状態）は、ラップごとのバッテリー消費量を自動的に計算します。

IONIQ 5 Nは、過酷なレーストラック条件下での温度管理に新たな基準を打ち立てました。競合他社に比べ、IONIQ 5 Nは、オーバーヒートによる最大パワーの損失という、熱による電力劣化に対して高い耐性を誇っています。

バッテリーの温度管理を強化し、冷却面積の拡大、モーターオイルクーラーとバッテリー冷却器を改良しました。バッテリーとモーターにそれぞれ独立したラジエーターを搭載することで、サーキットでの激しい走行前や走行中の性能低下に対するIONIQ 5 Nの抵抗力を最大限に高めています。

走行前に、ドライバーは N バッテリー・プリコンディショニングを利用し、フルパワーで短時間の走行が可能な「ドラッグ」モードか、より多くの周回をこなすために可能な限りバッテリー温度を低くする「トラック」モードのいずれかを選択することで、電池を最も電力効率の高い温度に最適化することができます。

N レース機能は、サーキットでの EV の耐久性をさらに最適化し、ドライバーに車両のエネルギー使用をより直接的にコントロールさせます。N レースは、可能な限り最速タイムを出すためにリソースを最大限に活用するモータースポーツ由来のアプローチを採用しています。通常、このようなセッティング変更は、メカニックチームと設備が必要ですが、IONIQ 5 N では、ボタンを数回押すだけで簡単に行うことができます。

N レース機能で、ドライバーは「エンデュランス」と「スプリント」のどちらを優先するかを戦略的に選択できます。「エンデュランス」はレーストラックでの走行距離を最大化します。これはピークパワーを制限することが達成されたため、温度の上昇を緩やかにすることが可能となりました。一方、「スプリント」はパワーを優先し、短時間でフルエネルギーを供給します。これにより、ドライバーはエネルギー戦略を正確に管理し、走行性能目標を達成するための理想的なパフォーマンスを作り出すことができます。

IONIQ 5 N は、ヒョンデで最も強力なブレーキシステムである N-チューンド・ブレーキを採用しています。直径 400mm のフロントディスクに 4 ピストンモノブロックキャリパー、360mm のリアディスクを装備しています。これらのブレーキは、冷却効率を向上させるために、新しい軽量素材と最適化されたエアフローで構成されています。加えて、ブレーキパフォーマンスを高めるために、IONIQ 5 N は回生ブレーキシステムが再開発されています。回生ブレーキはブレーキ力の主要な供給源として機能し、必要に応じて機械式ブレーキが追加のブレーキ力を補うことで、サーキットでの耐久性を向上させています。

ニュルブルクリンク北コースで求められる厳しい制動性能に応えるため、Hyundai N のエンジニアは IONIQ 5 N 専用の回生ブレーキを開発しました。ヒョンデ N のエンジニアが設計した N 専用の回生ブレーキは、回生ブレーキだけで業界トップレベルの最大 0.6G の減速力を提供し、ABS 作動下でも最大 0.2G の減速力を維持します。EV の相対的な重さによるブレーキフェードのリスクは、回生ブレーキのパワーを最大化することで最小化され、機械式ブレーキにかかるブレーキの力が低減されます。

回生ブレーキと油圧ブレーキの調和したブレンドは、ドライバーに気づかれないスムーズな移行を生み出します。さらに左足でのフットブレーキは、サーキット走行の際にブレーキペダルとアクセルペダルが同時に操ることを可能にします。

Everyday Sportscar にシフトフィールとエモーショナルな楽しさをもたらす最先端テクノロジー

Everyday Sportscar として、IONIQ 5 N は、N e-shift と N Active Sound + の統合により、魅力的なシフトフィールとエモーショナルなドライビングを実現しています。N e-shift は、まるでオーバーレブ(過回転)をコントロールするシフトチェンジフィーリングを提供し、N Active Sound + は、近未来的な EV サウンドだけでなく、ICE ライクなエンジンとエグゾーストサウンドを実現することで、より魅力的な運転体験を提供します。ICE 車のような揺れ感やサウンドを再現することで、ドライビングの楽しさや喜びを高めています。

多くの“Nthusiast (N 熱狂者)”は、EV のドライバーに対するフィードバックが不足していることを口にしてきました。そこで Hyundai N のエンジニアは、ドライバーのフィードバックを実現するために、N e-shift と N Active Sound + 機能を開発しました。その結果、IONIQ 5 N のダイナミックなドライビングコントロールをより明確にしました。正確なパワー・コントロールに重点を置いた独自のアプローチにより、N の EV サウンドへのアプローチは、これまでのアプリケーションとは一線を画しています。

N e-shift は、内燃機関 (ICE) N 車の 8 速デュアルクラッチトランスミッション (DCT) を再現します。モーターのトルク出力を制御することで変速やシフト間の揺れ感を再現することで、従来の EV よりも ICE に近い、より正確でインタラクティブな運転体験を提供します。

N Active Sound + は、N e-shift と組み合わせることで、ドライバーにより魅力的でエキサイティングな感覚をもたらし、EV のドライビング体験を向上させます。10 個のスピーカーシステム (内部 8 個、外部 2 個) を内蔵し、3 つの異なるサウンドテーマを提供します。「Ignition」テーマは N の 2.0T エンジン・サウンドを再現し、「Evolution」テーマは RN22e にインスパイアされた特徴的な高性能サウンドを提供します。「Supersonic」テーマは、ジェット戦闘機にインスパイアされたユニークなコンセプトで、コーナリング中に音量を変化させることができる。N Active Sound + の目的は、ドライバーに、アウトブットパワーをサウンドという官能的な基準で提供することです。

また、IONIQ 5 NにはN Road Sense が搭載されており、二重カーブの道路標識を検知すると、自動的にNモードの作動を推奨し、ドライバーはドライブの1秒1秒を最大限に楽しむことができます。

※EUのみでの展開となります。

標準のIONIQ 5と同様、NにもVehicle-to-Load (V2L) が装備されており、EVの高電圧バッテリーの蓄電エネルギーを使って、EVの電源を切った状態でも、e-bike、キャンプ用電気機器、家庭用電化製品などを使用することができます。

情熱的なドライビングを刺激する、パフォーマンス向上のデザイン要素

IONIQ 5 Nのエクステリアには、コントラストを効かせたブラックのトリムパーツやウィングタイプのリアスポイラーなど、パフォーマンスを高めるデザイン要素が多数追加されており、標準モデルのスポーティな側面を強調するとともに、サーキット走行のポテンシャルを最大限に引き出しています。

Nモデルは、標準のIONIQ 5とはさらにプロポーションを変えて差別化を図っています。全高が20mm低くなり、ワイドタイヤを装着するために全幅は50mm広くなり、専用のディフューザーのより全長が80mm長くなりました。

フロントには、エアカーテンとエアフラップを備えた機能的なメッシュのNマスク・グラフィック・フェイスアがあり、冷却効果を高めています。バンパーの下部にはリップ・スポイラーが配置され、低重心化されたスタンスを強調し、パフォーマンスの意図を伝えています。サイドスカートまで覆うブラックのフロントバンパーカバー下部のEV N専用「Luminous Orange」は、IONIQ 5 Nにレーストラック仕様の外観を与えています。

この印象は、21インチの鍛造アルミホイールに装着されたhigh-grip 275/35R21 Pirelli P-ZEROタイヤによってさらに強化され、乗り心地とハンドリングが向上し、サーキット走行でのグリップも向上しています。

リアには、N専用のウィングタイプのスポイラーが装備され、オレンジ色のアクセントが付いたリアディフューザーとエアアウトレットとともに、空気の流れをコントロールして最適な空力性能をサポートし、

IONIQ 5 N の高性能を強調するとともに、アグレッシブなスタイリングをさらに際立たせています。スポイラーには、N 専用の三角形のハイマウントストップランプが組み込まれています。リアハッチの下には、チェッカーフラッグのリフレクターグラフィックが施された N 専用のブラックバンパーカバーが装着されており、リアワイパーも装備されています。

IONIQ 5 N のインテリアは、ステアリングホイール、シート、ドアスカッフパネル、メタルペダルなど、N ブランドの要素を採用することで、N ファミリーの外観を端正に伝え、サーキット走行に最適化されています。

新デザインの N ステアリングホイールには、初めて「N」のロゴがあしらわれ、その脇にはドライバーの好みに合わせてドライブモードを設定する N ボタンが配置されています。ドライブモードは、各ボタンの様々な組み合わせでカスタマイズでき、IONIQ 5 N の楽しいドライビングスピリットを最大限に引き出します。3 時位置に配置された N グリーン・ブーストボタンは、直感的にアクセスでき、最大限の加速と楽しいドライビングを可能にします。パドルは、N e-shift と N Pedal の機能を作動させるために、ドライバーの指先の位置に最適化されています。

IONIQ 5 N のセンターコンソールは、ニーパッドとすね当て、スライド式アームレストを装備し、サーキット走行に最適化されています。コンソール下部を延長することで剛性を高め、スポーツドライビングをさらにサポートしています。また、毎日使うためにも C タイプ USB、ワイヤレス充電器、カップホルダーも装備しています。

N シートは、ボルスターを強化することで、急なコーナリングで強い横加速が生じても、上半身と下半身をしっかりと支え、常に安定したドライビング姿勢を保つことができます。N バケットシートは、基本仕様より約 20mm 低い位置に配置され、高いドライバビリティを追求するユーザー向けに設定しました。N のエンブレムをシート前後に配し、フロントにはウェルカムランプを装備し、バケットシートのデザインテーマであるツートンカラーは、リアにも継承されています。

N ドライビングの特性から、IONIQ 5 N のペダルは、オーバーステア、ドリフト、パワースライドを伴うサーキット走行シーンでのフットコンタクトに最適化され、両足ドライビングでのフットスリップのり

スクを低減します。フットレストは、強い減速モーメントを含め、常に安定した運転姿勢を維持できるように最適化されています。

新しいチェッカーフラッグのテーマは、IONIQ 5のアイコンであるパラメトリック・ピクセルにインスパイアされたもので、ドア・スカッフ・パネル、メタル・ペダル、フットレストに施され、Nブランドのモータースポーツ・スピリットを表現しています。

標準のIONIQ 5と同様に、IONIQ 5 Nの随所に持続可能な素材が使用されており、リサイクル可能なペパレットでドアが装飾され、サトウキビから作られた BIO PET 糸、リサイクルペットボトルから作られたリサイクル PET 糸、サトウキビから作られた BIO TPO、エコ加工レザーなどが使用されています。IONIQ 5 Nにも、リサイクルタイヤ顔料塗料や再生アルカンターラのシートカバークロスも追加されています。

2023年グッドウッド・フェスティバル・オブ・スピードにIONIQ 5 Nが登場

IONIQ 5 Nは、Nブランドが2023年のグッドウッド・フェスティバル・オブ・スピードに初出展する際の主役となります。Nブランドは、i20 N WRC、N Vision 74、RN22e、そして今回発表されたIONIQ 5 Nを含む複数の車両を展示するショーケースを建設しました。さらに、レース・シミュレーターやフォトブースなど、さまざまなパブリック・アクティビティも行われました。

グッドウッドにおけるNブランドのハイライトは、グッドウッドを代表するヒルクライムレースで開催される特別な「N モーメント」です。N モーメントでは、Nブランドのモータースポーツ・モデルやローリング・ラボが紹介され、新型IONIQ 5 Nの発表と、Nブランドのショーカー「IONIQ 5 Nドリフト仕様」の世界初披露でクライマックスを迎えました。さらに、2023年仕様のi20 N WRCがフォレスト・ラリーステージに参加しました。

仕様		IONIQ 5 N
出力	フロント	166 kW / 226 PS
	リア	282 kW / 383 PS
	トータル出力	448 kW / 609 PS
	ブースト時 N グリン・ブースト	478 kW / 650 PS (Front: 175 kW, 238 PS / Rear: 303 kW, 412 PS)
バッテリー	総電力量	84 kWh
充電	充電スピード	350 kW
	充電時間	18 分で 10% から 80% まで充電可能
ボディサイズ	全長	4,715 mm
	全幅	1,940 mm
	全高	1,585 mm
	ホイールベース	3,000 mm
タイヤ		Pirelli P-Zero 275/35R21
ブレーキシステム	フロント	4 piston 400 mm
	リア	1 piston 360 mm
回生ブレーキ	減速度	0.6 G (0.2 G during ABS activation)
0 - 100 km/h		3.4 sec. (N グリン・ブースト)
最高速度		260 Km/h

航続距離	各地域の市場投入時に発表予定
エクステリアカラー	Performance Blue Matte, Performance Blue, Abyss Black Pearl, Cyber Gray Metallic, Ecotronic Gray Matte, Ecotronic Gray , Atlas White Matte, Atlas White, Gravity Gold Matte and Soultronic Orange Pearl
インテリアカラー	Black with Performance Blue accents

※エネルギー消費量は確定値ではありません。あくまでも目安としてご利用ください。車両の仕様および機能は、国／地域によって異なる場合があります、予告なく変更されることがあります。

- END -

※編集部注：国や地域によって、製品の仕様や利用可能な機能が異なる場合があります。

Hyundai (ヒョンデ) について

1967年に設立された Hyundai Motor Company は、世界 200 カ国以上で事業を展開し、12 万人以上の従業員を雇用しており、世界中のモビリティに関する現実的な課題に取り組んでいます。ブランドビジョンである「Progress for Humanity」に基づき、Hyundai Motor はスマートモビリティ・ソリューション・プロバイダーへの転換を加速しています。Hyundai は、革新的なモビリティソリューションを実現するために、ロボティクスや Advanced Air Mobility (AAM) などの先進技術に投資し、未来のモビリティサービスを導入するためのオープンイノベーションを追求しています。世界の持続可能な未来のために、Hyundai Motor は業界をリードする水素燃料電池と電気自動車技術を搭載したゼロエミッション車を導入するための努力を続けていきます。

Hyundai Motor Company とその製品に関するより詳しい情報は、以下をご覧ください。

<http://worldwide.hyundai.com> または <http://globalpr.hyundai.com>